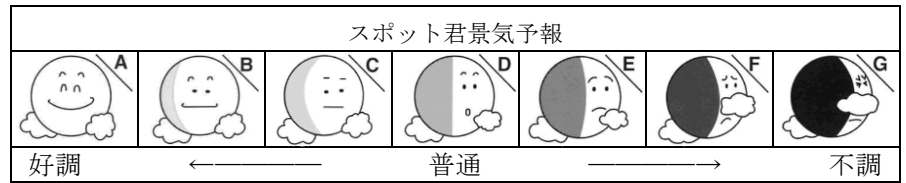


2. 目黒区内中小企業の景況（令和7年4～6月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△9.6で前期比0.9ポイント増と前期並の厳しさが続いた。売上額は△10.6で9.8ポイント減、収益は△16.2で11.2ポイント減とともに大きく減少・減益幅が拡大し、資金繰りは△12.9で1.1ポイント減と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は1.7ポイント減の△11.3と低調感がやや強まる見込み。

卸売業



業況は△32.8で前期比6.3ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△13.8で1.9ポイント減とやや減少幅が拡大し、収益は△17.7で8.6ポイント増とかなり持ち直し、資金繰りは△3.8で16.1ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は4.6ポイント増の△28.2と厳しさがわずかに和らぐ見込み。

小売業



業況は△14.0で前期比17.8ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△9.2で3.7ポイント減とやや減少幅が拡大し、収益は△24.5で7.1ポイント増とかなり改善し、資金繰りは△15.3で13.7ポイント減と大幅に窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は8.6ポイント減の△22.6と低調感が大きく強まる見込み。

サービス業



業況は△15.2で前期比9.9ポイント減とかなり低調感が強まった。売上額は△18.5で14.2ポイント減と大きく減少を強め、収益は△15.2で3.0ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは0.3で4.4ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は2.7ポイント増の△12.5と幾分上向く見込み。

建設業



業況は13.3で前期比5.2ポイント増と若干好調感が強まった。売上額は3.8で7.3ポイント増と増加に転じ、収益は△4.9で4.2ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは10.0で7.7ポイント増と容易さが大きく増した。来期の見通しについては、業況は増減なく今期同様の良好感が続く見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

